

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	517	758	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	18	14	ヘルパンギーナ	7	9
咽頭結膜熱	29	27	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	86	91
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	60	66	急性出血性結膜炎	1	0
感染性胃腸炎	625	580	流行性角結膜炎(はやり目)	4	11
水痘	105	102	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	0	3	無菌性髄膜炎	3	1
伝染性紅斑(りんご病)	34	27	マイコプラズマ肺炎	2	0
突発性発しん	33	31	クラミジア肺炎	0	0

**報告が多い感染症**

**感染性胃腸炎**  
**インフルエンザ**  
**水痘**

- 感染性胃腸炎は、報告数 625 件(前週報告数 580 件)と増加。地区別では、山鹿、八代、宇城に多く報告がみられる。年齢別では、1歳の 113 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数 517 件(前週報告数 758 件)と減少。地区別では、八代、宇城、菊池に多く報告がみられる。年齢別では、10～14歳の 72 件を最多に、幅広い年齢層からの報告である。
- 水痘は、報告数 105 件(前週報告数 102 件)と増加。地区別では、熊本、有明、宇城に報告が多くみられる。年齢別では、2歳の 25 件を最多に、7歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	168	3	11	39	179	51		13	14			31	1	4		2	1	
山鹿保健所	10				59	4		3	2		1	3	*	*				
菊池保健所	52	3	6	3	67	9		6	5			8						
阿蘇保健所	2			1	7								*	*				
御船保健所	17				10							1	*	*				
八代保健所	89	2	5	3	85	9						18						
水俣保健所	18	1	2		12	3		1	2			4	*	*				
人吉保健所	29	2	3	1	52	3			1			3	*	*				
有明保健所	33			1	39	12		8	3			4				1	1	
宇城保健所	54	1	1	11	56	7		3	2			13						
天草保健所	45	6	1	1	59	7			4		6	1						
計	517	18	29	60	625	105	0	34	33	0	7	86	1	4	0	3	2	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	517		10	12	35	36	56	36	38	48	60	32	72	8	18	21	12	9	7	5	2
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	18	6	5	5	2																
咽頭結膜熱	29		3	14	4	1	1	2	4												
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	60			1	9	4	6	9	7	6	5	1	9	1	2						
感染性胃腸炎	625	4	49	113	71	63	41	45	35	29	36	23	62	10	44						
水痘	105	3	5	24	25	14	22	6	5	1											
手足口病	0																				
伝染性紅斑	34		1	3	1	2	3	4	8	3	3	1	5								
突発性発しん	33		22	11																	
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	7			4			1					1		1							
流行性耳下腺炎	86		1	6	10	16	12	17	8	4	6	1	5								
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	1																				1
流行性角結膜炎	4														2	2					
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	3			1	1						1										
マイコプラズマ肺炎	2			1	1																
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- インフルエンザ：八代
- 咽頭結膜熱：菊池
- 流行性耳下腺炎：八代、宇城
- 感染性胃腸炎：山鹿、八代、宇城
- 伝染性紅斑：宇城

流行性  
耳下腺炎



流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、昨年後半から例年より高い水準で推移しています。特に八代、宇城地域で多く報告されています。感染すると2～3週間の潜伏期間を経て、片側あるいは両側の唾液腺(耳の下あたり)の腫れ、痛み、発熱を主な症状として発病します。通常1～2週間で軽快しますが、合併症として無菌性髄膜炎や難治性の難聴を引き起こす場合もあります。また、思春期以降の男性では睾丸炎を、女性では卵巣炎を併発することがあります。

ウイルスの感染力は強いとされていますが、感染しても発病しない(不顕性感染)場合も多くあります。患者のせきやくしゃみなどからの飛沫により感染します。手洗い・うがいの励行や患者との接触を控える等予防に努めてください。予防接種は、任意の接種となりますので、かかりつけの医療機関に相談してください。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課